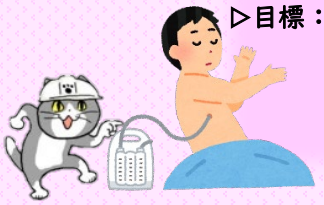
ここが知りたい！ドレーン管理研修

▷目的：ドレーン管理を安全に行う為の方法を習得する
▷目標：1. ドレーン留置の目的、種類と特徴を述べることができる
2. ドレーン留置中の観察ができる
3. ドレーントラブルに至らないような予防策を説明することができる
4. ドレーントラブルが起こった際の対応を述べることができる



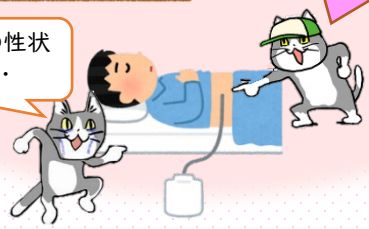
・対象者
1-3 年目看護師
・開催日時
11 月 27 日(月)
17:30-19:00
18名が受講しました！

講義：事前学習を振り返ってみよう

・ドレーンの目的と種類
・ドレーン管理のポイント
・観察のポイント

刺入部の観察
排液の性状と量の
確認！

この部位の排液の性状
正常な色は･･･



講義：医療安全の視点からみたドレーン管理について

ドレーンのインシデンで問題なのは、
・思い込み・アセスメント不足
・操作方法、固定などの確認不足

講師：安全管理部
江副智美看護師長

正確な患者さんの状態観察と把握、
正しく器具を取り扱うことも大事です！
患者さんへの説明をしっかり行い協力を得ることも大切。
安全なドレーン管理を心掛けましょう！

演習 1.ドレーンの構造について学ぼう

・実際にドレーン触れてみる！
・ドレーンの構造の確認
・排液バッグの種類と操作の確認

ドレーンとチューブ、排液バッグは
一体型ではないので、実際に接続
して、陰圧もかけてみました

接続部の確認が必要だね

陰圧がかっていない状態(フラップ型の場合)

正しい方法で
陰圧をかける！

ドレーン圧　ヨシ！

演習 2.ドレーン管理を実践してみよう

チェックリストに沿って
・観察ポイントの確認と実践
・ドレーントラブル対応の実践

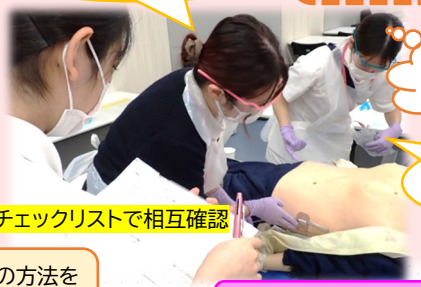
挿入部から排液バッグまで手で
辿って確認することで緩みやねじれを確認！

標準予防策もしっかり実施！

観察から排液破棄までの方法を
デモンストレーションで確認

ドレーントラブルの対応演習

固定のズレ無し！



チェックリストで相互確認

あれ？
背中にドレーンを
敷いてる！

(挿入部や固定部)
痛くないですか？

あれ？
陰圧かかっている？

トラブルを想定して観察➡速やかに対応！報告！

受講者からの意見や感想（一部抜粋）

・思い込まずチューブやドレーンバックの陰圧、刺入部をしっかり観察する。
・患者さんにドレーン留置中の注意点をしっかり説明する。
・事例を用いて演習を行うことができたので学びを深めることができた。
・演習をしてみて、改めてドレーン管理について見直すことができ、これまで知らなかった知識についても学ぶことができました。
・ドレーンについてのインシデントを学び、ドレーントラブルにより再手術に繋がったりするので丁寧な観察を怠らないことがすぐに実践できることだと思いました。

受講者のみなさんへ

ドレーン管理に携わる機会の少ない部署からも多数の参加があり、皆さんの安全なドレーン管理を学ぼうとする関心の高さが伺えました。臨床でドレーン留置中の患者さんのドレーントラブルに直面した時に、研修で学んだ内容をパートナーや医師への報告や対応に活かして、安全なドレーン管理に繋げていってください。

看護キャリア支援室：堀田ほづみ、鵜瀬葉月